

(資料 4 1) 所内公募研究の実施状況

1 . 平成 14 年度奨励研究実施状況

平成 14 年度においては、基盤的研究 12 (10) 課題、長期モニタリング等 2 (4) 課題の計 14 (14) 課題を実施した。

種類	氏名	課 題 名	研究期間	(千円)
基盤的研究 12 課題	大迫誠一郎	多種哺乳類の Ah 受容体 cDNA を用いたダイオキシン類の毒性評価	14	3,000
	持立克身	基底膜形成テクノロジーを用いた気道上皮組織の構築	14	3,000
	掛山正心	大気中化学物質暴露が脳機能に及ぼす影響についての研究	14	3,000
	谷本浩志	沖縄・波照間ステーションにおける PAN の季節変化観測	14	3,000
	遠嶋康徳	重量充填法による大気中の O ₂ / N ₂ 比測定用標準ガスの調製方法の開発	14 ~ 15	4,000
	矢部徹・永田尚志	ヨシ原管理が野生生物および生態系機能に与える影響に関する研究	14 ~ 15	5,000
	青野光子・玉置雅紀	植物の環境適応機構の解明とその環境影響評価への利用	14	4,000
	中嶋信美	ビスフェノール A を無毒化する植物のグルコース転移酵素の cDNA クローニング	14 ~ 15	3,000
	古山昭子	動脈硬化モデル培養系の作成	14	3,000
	佐野友春	藍藻の有毒物質 (ミクロシスチン及び Dhb- ミクロシスチン) の発がん促進作用に関する研究	14	2,500
	板山朋聡	バイオ・エコエンジニアリング支援技術としての微生物・細胞計測システムに関する基盤研究	14	2,500
	奥田敏統	レーザープロファイラーを用いた熱帯陸域生態系の長期観測	14 ~ 15	5,000
			小計	33,500
長期モニタリング	中村泰男	有明海における高レベル栄養塩類濃度維持機構に関する研究：適正な浅海域管理をめざして	14 ~ 18	5,000
	横内陽子	南北両半球における VOC のベースラインモニタリング	13 ~ 17	5,600
			小計	18,100
			合計	51,600

2. 平成 14 年度後期奨励研究等実施状況

研究を進めていく途上で新たに生じた研究課題等に対応するため、14 年度後期に実施する所内奨励研究等として基盤的研究 26 課題を実施した。

種類	氏名	課題名	研究期間	(千円)
基盤的研究 26 課題	永島達也	非地形性重力波抵抗スキームの C C S R / N I E S 中層大気モデルへの導入	14 年度 後期	1,300
	岩根泰蔵	地表水中および下水中の医薬品起源化学物質の測定と初期リスク評価	14 年度 後期	3,000
	斉藤拓也	南極氷床コア中塩化メチルの測定	14 年度 後期	2,500
	呉 慶	環境汚染物質が DNA メチル化と胎児の成長発育に及ぼす影響	14 年度 後期	2,500
	沼田真也	東南アジア熱帯林の生物季節様式の解明	14 年度 後期	2,500
	小熊宏之	複数時期の空中写真を用いた天然林森林動態の研究	14 年度 後期	2,500
	藤井賢彦	気候変動モデルに必要な海洋生物化学パラメータの海域別代表値の校正	14 年度 後期	2,000
	武田知己	カラマツ群落の反射特性から個葉の分光特性を推定するための手法に関する研究	14 年度 後期	2,000
	杉田孝史	成層圏オゾン回復期における各種大気科学過程のオゾンへの影響評価	14 年度 後期	2,500
	入江仁士	南極成層圏雲の生成過程の解明	14 年度 後期	2,100
	江尻 省	地上 F T I R で得られる成層圏水蒸気の同位対比を用いた成層圏・対流圏交換の解明	14 年度 後期	2,800
	石堂正美	環境因子による広汎性発達障害に関する研究	14 年度 後期	2,500
	高村典子	バイオマニピュレーションを用い霞ヶ浦沿岸域に沈水植物群落を回復させる試み	14 年度 後期	1,250
	遠藤和人	埋立処分場における内部発生熱に影響される水移動モデルの構築	14 年度 後期	2,500
	毛利紫乃	廃棄物の生態毒性評価のための溶出試験法の検討と水生生物試験の適用に関する研究	14 年度 後期	2,500
	滝上英孝	POPs 汚染物、処理物の多角的なバイオアッセイモニタリング	14 年度 後期	2,500
	寺崎正紀	ヒメタニシに存在する甲状腺ホルモン様物質の構造決定	14 年度 後期	2,000
	工藤祐揮	自動車 C O 2 排出抑制対策評価のための実燃費データベースの構築	14 年度 後期	2,500
	小池英子	大気汚染物質が気道に及ぼす毒性影響の包括的な解析と影響指標の探索	14 年度 後期	2,250

	山崎 新	大気汚染と健康関連 QOL との関連に関する研究	14 年度 後期	1,243
	梁 乃申	森林生態系における幹・主根呼吸の多点自動連続測定システムの試作	14 年度 後期	1,200
	中路達郎	葉面反射特性とクロロフィル蛍光を利用したユーカリの光合成活性の評価	14 年度 後期	2,500
	保原 達	極域ツンドラ土壌における溶存性有機態窒素 (DON) 動態を規定する生物地球化学的メカニズムの解明：炭素蓄積および気候変動に対する応答との関連	14 年度 後期	1,200
	李 美善	植物における酸素と二酸化炭素の交換比率に関する研究	14 年度 後期	1,620
	須藤洋志	半導体型メタンセンサーを用いたメタン連続測定装置の安定化に関する研究	14 年度 後期	1,300
	下山 宏	CO ₂ /H ₂ O 分析計出力連続校正システムの開発と校正頻度がフラックス精度に与える影響の評価	14 年度 後期	1,200
			合計	53,963

3 . 平成 14 年度特別研究実施状況

平成 14 年度においては、新規 1 課題を含む 7 課題を実施した。

課題代表者	課題名	研究期間	(千円)
今井章雄	湖沼における有機炭素の物質収支及び機能・影響の評価に関する研究	13-15	17,700
田村憲治	中国における都市大気汚染による健康影響と予防対策に関する国際共同研究	12-16	13,600
畠山史郎	大規模広域大気汚染に関する国際共同研究	13-17	13,100
野原精一	干潟等湿地生態系の管理に関する国際共同研究	11-14	15,600
中根英昭	大気汚染・温暖化関連物質監視のためのフーリエ変換赤外分光計測技術の開発に関する研究	12-14	17,200
牧秀明	海域の油汚染に対する環境修復のためのバイオレメディエーション技術と生態系評価手法の開発	10-14	22,800
高野裕久	アレルギー反応を指標とした化学物質のリスク評価と毒性メカニズムの解明に関する研究	14-16	20,000